



「KOBE」×「SPORT」

神戸スポーツ産業懇話会 Sport Industry Network in KOBE ~スポーツ産業振興を通じて、神戸経済の活性化へ~

ラグビーに関心を持った人たちが、 安心して楽しめる土壌づくりを

兵庫県ラグビーフットボール協会 書記長 **中島 誠一郎** 氏



ラグビーが早くから根付いた兵庫・神戸はラグビーが盛んな地域でもある。ラグビーへの関心が高まる中、兵庫・神戸では、競技の普及に向けてどのような取り組みが行われているのか。競技者を取りまとめる兵庫県ラグビーフットボール協会書記長の中島誠一郎氏に聞いた。

—兵庫・神戸とラグビーの関わりは

ラグビーは19世紀にイングランドで発祥したスポーツで、日本ではイギリス人の船員によって1874（明治7）年に初めてラグビーの試合が行われました。その2年後の1876（明治9）年、神戸港に寄港中の英国軍艦船員と外国人スポーツクラブ「神戸レガッタ&アスレチッククラブ（KR&AC）」の対戦が、神戸で初めて行われたラグビーの試合とされています。

現在の日本におけるラグビー人口は全人口の0.01%の約11万人で、野球の0.95%、サッカーの0.7%などと比べるとまだまだ少ないのが現状です。ただ、兵庫県はそのような古い伝統を引き継いでいることもあり、東京、大阪、横浜などに次ぐラグビー人口の多い地域です。小学生から社会人、男女124のスクールや

クラブチームが協会に所属しており、全国クラスのチームも多いです。

—協会では、どのような普及活動に取り組んでいるのでしょうか

前回の2015年ワールドカップで日本が南アフリカに勝つ活躍を見せたことで関心が高まり、ラグビーを始めたいという子どもたちが増えました。ただ、指導者の数が追いついていないなど、受け入れきれない状況になってしまうところもありました。現在は、指導者、レフェリーの育成研修に力を入れているほか、試合中にケガをした場合に迅速に対処に当たるセーフティマネジメント講習なども行って、安全対策にも努めています。また、この10年来、地元テレビ局で県内のラグビーの活動を取り上げた番組を年に1回放映し



ています。

今年のワールドカップ開催に向け、当協会ではラグビーを「する」「みる」「ささえる」、そして、ラグビーを通じて「つながる」「あつまる」ための環境整備を進めています。ラグビーへの関心を高めるべく幼児から中学生を対象にした「ラグビー体験教室」を開いているほか、一般の人にもラグビーの楽しさを知ってもらおうと、昨年および今年の5月には、大丸神戸店東側の道路で「ストリートラグビー」のイベント開催に協力しました。コンパクトなフィールドをしつらえ、タックルではなくタッチで相手を止めるやり方で、ゲームを通じてラグビーの魅力伝えました。

—ワールドカップ目前。ラグビーに関心を持つ人たちも増えています。協会として今後どのような取り組みに力を入れていこうとお考えですか

なんといっても日本代表の活躍に期待しています。決勝トーナメントへの進出を果たしてほしいですね。大会を契機にラグビーをしてみたいという子どもたちがまた増え、ラグビーの魅力が広がっていけば、おのずと観に行きたいという人も増えてくることでしょう。ラグビーの盛んな欧州では、ラグビー観戦は大人の社交場としての役割も果たしています。老若男女、たくさんの人にラグビーに触れてもらう機会を提供していきたいと思います。

また、競技の現場も変わりつつあり、特に子ども向けのスクールでは、勝つことよりもまずラグビーの楽しさを理解できるような指導法に変わってきています。スポーツが真に地域コミュニティの形成に役立てるよう、ラグビーの普及活動を通じて、その一翼を担っていきたいと考えています。

ルールを知って、 ラグビー観戦を楽しもう！

「ラグビーは、ボールを手と足で自由に運びながら相手の陣地を取り合う、陣取りゲーム」と例える平尾氏。これを覚えていけばもっと試合を理解できる、というルールを教えてもらった。

〈得点方法〉

- ◆トライ（5点）
相手のゴール陣地（インゴール）地面にボールをつける。
- ◆コンバージョンキック（2点）
トライ後にゴールキックを成功させる。
- ◆ペナルティゴール（3点）
相手チームが重い反則をした際に得られるゴールキックを成功させる。
- ◆ドロップゴール（3点）
プレー中にゴールキックを成功させる。

〈よく起こる反則〉

- ◆スローフォワード
ボールを持ったプレイヤーが、前方にボールを投げる反則。「ボールを持った者が常にプレーの最前線であればならない」という考え方に基づくといわれる。
 - ◆ノックオン
プレイヤーがボールを前に落としてしまう反則。「ボールを大事に扱いなさい」という意味が込められている」という。
 - ◆ノットリリースザボール
グラウンドに倒れた選手はその場でボールを離さなければならず、離さない場合に適用される反則。「立ってプレーをする」という原則を守るためのもの。
- ※アドバンテージルール
反則が生じた際、その相手側に有利にプレーが動いていると審判が判断した場合、すぐにプレーを止めずに試合を継続させるもの。その後の状況によって、そのまま継続する場合と、反則時に戻す場合がある。

ラグビーワールドカップを 観にいこう！

「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」
神戸開催 試合情報（会場：神戸市御崎公園球技場）

	9月26日(木) 19:45キックオフ イングランド VS アメリカ	
	9月30日(月) 19:15キックオフ スコットランド VS サモア	
	10月3日(木) 19:15キックオフ アイルランド VS ロシア	
	10月8日(火) 19:15キックオフ 南アフリカ VS カナダ	

チケット購入は公式サイトから <https://tickets.rugbyworldcup.com>